

《2023年7～9月期会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 236 社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	69 社	中部日本	81 社	西日本	86 社
-----	------	------	------	-----	------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	25 社	包装用容器・キャップ	30 社	電気・電子・通信部品	29 社		
自動車・輸送機器部品	96 社	住宅関連	14 社	医療機器	5 社	その他	32 社

3. 従業員数の内訳

20人未満	37 社	21～50人	61 社	51～100人	63 社	101～300人	46 社	301人以上	20 社
-------	------	--------	------	---------	------	----------	------	--------	------

4. 今期(2023年7～9月期)の自社業況について(%) <網掛けの数字は前期の結果です>

	2023年7～9月期(実績)																							
	前期(2023年4～6月期)比						前年同期(2022年7～9月)比																	
	1. 増加(→)		2. 横這(→)		3. 減少(→)		1. 増加(↓)		2. 横這(→)		3. 減少(↑)													
①生産・売上高	32.2		32.9		42.8		42.1		24.6		25.0		39.4		42.9		30.1		30.4		28.8		25.4	
②製品単価	22.0		27.9		72.0		67.1		5.5		5.0		45.8		47.5		46.6		48.3		5.9		2.9	
③採算	16.9		17.1		54.2		51.3		28.4		31.3		28.0		25.4		40.3		41.3		30.1		32.1	
④所定外労働時間	19.1		14.6		62.3		64.6		17.8		20.4		22.9		20.4		55.1		57.9		19.9		20.4	
⑤製品在庫	19.5		20.0		64.4		57.9		15.3		21.3		22.0		24.2		55.9		54.6		20.3		18.3	
⑥樹脂原料単価	46.2		48.3		49.2		43.8		4.2		7.1		56.4		63.3		36.4		25.8		5.5		8.3	
⑦総合判断	17.8		17.9		53.4		55.8		27.1		26.3		27.5		26.7		38.6		41.7		30.5		30.4	
⑧来期の見通し	19.1		20.0		53.0		51.7		23.3		23.8													

5. 当面の経営上の問題点(%) <網掛けの数字は前期の結果です>

1. 売上不振	39.8	36.3	2. 輸出不振	1.7	2.5	3. 製品単価安	32.2	27.9	4. 取引条件悪化	2.5	1.7	5. 過当競争	5.1	4.6	6. 輸入品との競合	0.8	2.1
7. 流通経費増大	17.8	20.8	8. 原材料高	57.6	60.0	9. 借入負担増	5.5	6.7	10. 銀行貸し渋り	0.0	0.4	11. 人件費高	48.7	44.2	12. 採用難	40.7	40.8
13. 技能者不足	26.3	26.7	14. 技術力不足	11.4	8.8	15. マーケティング力不	4.7	6.7	16. 設備過剰	1.3	2.5	17. 法的規制	2.5	3.8	18. 為替問題	8.9	5.0
19. 環境問題	3.4	5.8	20. 人材育成	36.4	34.2	21. 研究開発	3.0	3.3	22. 事業承継	2.1	5.4	23. その他	2.1	7.5			

5.当面の経営上の問題点におけるその他の意見

- ・電気料金高 ※同類回答 他 3 件有
- ・設備の老朽化 ※同一回答 他 1 件有
- ・採用難 新卒採用 25 から 28 万円
- ・ユーティリティコストアップ
- ・人手不足
- ・人件費・経費等を売り上げ単価に転嫁しにくい状況が続いている。

○その他の意見がありましたら具体的にお書き下さい

- ・忙しさは増し売り上げも伸びているが、人手不足が極端。
- ・販売側の振込手数料負担が無くならない。
- ・売上が長く横ばいであるが、その間諸経費はかなりのスピードで上昇し続けている。後期の景気対策が欲しい。
- ・人件費他コストアップになっているが、客先からはコストダウンを要求されているのが実態で、国の指導が必要と思われる。
- ・賃金の上昇を国はアピールしていますが、中小企業には原資が不足であるので困難な先行きです。新卒の採用ができていないので、技能実習生の受け入れを多くして人手の確保を行う。特定1号2号の人材と留学生の採用を増やす。
- ・前年比・前期比で売上は回復しているものの、一部足元で受注減少・稼働がいまいち。物価高騰の影響で節約ムードのせいでしょうか。先行き不透明です。
- ・今年はコロナの影響から回復し、反動の恩恵もあったが、先行きに不安を感じる

各分類ごとの業況判断(2023年7～9月期 前期比)

数字は前期比で、単純平均%で表示しております
 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

団 thể別	①生産高・売上高			②製品単価			③採算			④所定外労働時間			⑤製品在庫			⑥材料原料単価			⑦総合判断			⑧来期の見通し		
	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化	好転	横這	悪化
東日本	27.5%	46.4%	26.1%	27.5%	69.6%	2.9%	13.0%	53.6%	33.3%	21.7%	60.9%	17.4%	23.2%	56.5%	18.8%	55.1%	42.0%	2.9%	14.5%	53.6%	30.4%	15.9%	56.5%	24.6%
中部日本	42.0%	38.3%	18.5%	16.0%	74.1%	8.6%	22.2%	54.3%	22.2%	24.7%	59.3%	13.6%	16.0%	71.6%	11.1%	32.1%	60.5%	6.2%	25.9%	49.4%	22.2%	22.2%	54.3%	19.8%
西日本	26.7%	44.2%	29.1%	23.3%	72.1%	4.7%	15.1%	54.7%	30.2%	11.6%	66.3%	22.1%	19.8%	64.0%	16.3%	52.3%	44.2%	3.5%	12.8%	57.0%	29.1%	18.6%	48.8%	25.6%

製品別	①生産高・売上高			②製品単価			③採算			④所定外労働時間			⑤製品在庫			⑥材料原料単価			⑦総合判断			⑧来期の見通し		
	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化	好転	横這	悪化
日用品・雑貨類	8.0%	44.0%	48.0%	8.0%	88.0%	4.0%	4.0%	40.0%	56.0%	4.0%	64.0%	32.0%	28.0%	44.0%	28.0%	52.0%	40.0%	8.0%	4.0%	52.0%	44.0%	12.0%	40.0%	32.0%
包装容器・キヤップ	30.0%	43.3%	26.7%	30.0%	70.0%	0.0%	16.7%	53.3%	30.0%	3.3%	80.0%	16.7%	0.0%	86.7%	13.3%	50.0%	46.7%	3.3%	13.3%	60.0%	26.7%	13.3%	53.3%	26.7%
電気・電子・通信部品	10.3%	41.4%	48.3%	20.7%	69.0%	10.3%	3.4%	62.1%	34.5%	10.3%	51.7%	37.9%	24.1%	62.1%	13.8%	48.3%	48.3%	3.4%	6.9%	55.2%	37.9%	17.2%	48.3%	34.5%
自動車	54.2%	37.5%	8.3%	24.0%	69.8%	6.3%	25.0%	55.2%	19.8%	32.3%	62.5%	4.2%	17.7%	67.7%	14.6%	42.7%	54.2%	3.1%	30.2%	51.0%	16.7%	26.0%	59.4%	13.5%
住宅関連	7.1%	50.0%	35.7%	14.3%	71.4%	7.1%	7.1%	57.1%	28.6%	14.3%	42.9%	35.7%	14.3%	71.4%	7.1%	42.9%	42.9%	7.1%	7.1%	42.9%	42.9%	7.1%	50.0%	28.6%
医療機器	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	40.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	60.0%	40.0%
その他	18.8%	56.3%	25.0%	25.0%	68.8%	6.3%	21.9%	53.1%	25.0%	15.6%	65.6%	18.8%	37.5%	53.1%	9.4%	43.8%	50.0%	6.3%	12.5%	56.3%	28.1%	18.8%	46.9%	28.1%

人数別	①生産高・売上高			②製品単価			③採算			④所定外労働時間			⑤製品在庫			⑥材料原料単価			⑦総合判断			⑧来期の見通し		
	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化	好転	横這	悪化
20人以下	32.4%	35.1%	32.4%	18.9%	73.0%	8.1%	10.8%	59.5%	29.7%	13.5%	62.2%	24.3%	10.8%	70.3%	18.9%	40.5%	56.8%	2.7%	16.2%	54.1%	29.7%	10.8%	56.8%	24.3%
21～50人	14.8%	47.5%	37.7%	24.6%	70.5%	4.9%	11.5%	52.5%	36.1%	11.5%	65.6%	23.0%	24.6%	57.4%	18.0%	47.5%	47.5%	4.9%	11.5%	50.8%	34.4%	19.7%	47.5%	26.2%
51～100人	34.9%	42.9%	20.6%	20.6%	73.0%	4.8%	22.2%	57.1%	19.0%	20.6%	61.9%	14.3%	15.9%	69.8%	12.7%	49.2%	44.4%	4.8%	22.2%	55.6%	20.6%	22.2%	57.1%	20.6%
101～300人	47.8%	39.1%	13.0%	28.3%	65.2%	6.5%	19.6%	50.0%	30.4%	32.6%	63.0%	4.3%	28.3%	65.2%	6.5%	45.7%	50.0%	4.3%	21.7%	52.2%	23.9%	19.6%	52.2%	21.7%
301人以上	35.0%	55.0%	10.0%	10.0%	85.0%	5.0%	15.0%	55.0%	30.0%	25.0%	50.0%	25.0%	20.0%	55.0%	25.0%	45.0%	50.0%	5.0%	15.0%	55.0%	30.0%	15.0%	50.0%	30.0%

各分類ごとの業況判断(2023年7～9月期 前年同期比)

数字は前年比で、単純平均%で表示しております
 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

団体別	①生産高・売上高			②製品単価			③採算			④所定外労働時間			⑤製品在庫			⑥材料原単価			⑦総合判断		
	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化
東日本	43.5%	26.1%	26.1%	52.2%	40.6%	2.9%	24.6%	37.7%	33.3%	21.7%	52.2%	21.7%	24.6%	49.3%	21.7%	60.9%	33.3%	1.4%	21.7%	37.7%	34.8%
中部日本	48.1%	32.1%	19.8%	29.6%	63.0%	7.4%	30.9%	44.4%	24.7%	34.6%	51.9%	12.3%	13.6%	69.1%	17.3%	45.7%	48.1%	6.2%	33.3%	43.2%	21.0%
西日本	27.9%	31.4%	39.5%	55.8%	36.0%	7.0%	27.9%	38.4%	32.6%	12.8%	60.5%	25.6%	27.9%	48.8%	22.1%	62.8%	27.9%	8.1%	26.7%	34.9%	36.0%

製品別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化
	日用品・雑貨類	16.0%	44.0%	40.0%	40.0%	56.0%	4.0%	8.0%	44.0%	48.0%	8.0%	64.0%	28.0%	16.0%	32.0%	52.0%	60.0%	24.0%	16.0%	8.0%	36.0%
包装容器・キヤップ	36.7%	23.3%	36.7%	66.7%	26.7%	3.3%	30.0%	40.0%	26.7%	6.7%	76.7%	13.3%	6.7%	73.3%	16.7%	53.3%	36.7%	6.7%	33.3%	36.7%	26.7%
電気・電子・通信部品	10.3%	37.9%	48.3%	34.5%	48.3%	13.8%	13.8%	34.5%	48.3%	3.4%	55.2%	37.9%	20.7%	55.2%	20.7%	62.1%	34.5%	0.0%	6.9%	37.9%	48.3%
自動車	64.6%	24.0%	11.5%	40.6%	53.1%	6.3%	42.7%	38.5%	18.8%	42.7%	50.0%	6.3%	21.9%	62.5%	15.6%	53.1%	40.6%	6.3%	43.8%	38.5%	15.6%
住宅関連	7.1%	21.4%	71.4%	28.6%	64.3%	7.1%	7.1%	50.0%	42.9%	14.3%	42.9%	42.9%	21.4%	57.1%	21.4%	35.7%	57.1%	7.1%	7.1%	35.7%	57.1%
医療機器	40.0%	40.0%	20.0%	60.0%	40.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	40.0%	80.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%
その他	28.1%	37.5%	28.1%	59.4%	31.3%	3.1%	21.9%	37.5%	34.4%	12.5%	50.0%	31.3%	46.9%	40.6%	6.3%	62.5%	31.3%	0.0%	18.8%	43.8%	28.1%

人数別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化
	20人以下	35.1%	27.0%	32.4%	35.1%	54.1%	5.4%	13.5%	56.8%	24.3%	10.8%	62.2%	21.6%	8.1%	62.2%	24.3%	56.8%	32.4%	5.4%	16.2%	48.6%
21～50人	29.5%	34.4%	34.4%	50.8%	41.0%	6.6%	21.3%	42.6%	34.4%	14.8%	57.4%	26.2%	24.6%	52.5%	21.3%	57.4%	36.1%	4.9%	13.1%	47.5%	34.4%
51～100人	46.0%	27.0%	27.0%	46.0%	49.2%	4.8%	39.7%	34.9%	25.4%	30.2%	55.6%	12.7%	15.9%	61.9%	22.2%	55.6%	41.3%	3.2%	39.7%	30.2%	28.6%
101～300人	52.2%	28.3%	19.6%	50.0%	41.3%	8.7%	32.6%	34.8%	32.6%	41.3%	47.8%	10.9%	37.0%	56.5%	6.5%	56.5%	34.8%	8.7%	37.0%	34.8%	26.1%
301人以上	30.0%	40.0%	30.0%	40.0%	55.0%	5.0%	25.0%	30.0%	45.0%	15.0%	50.0%	35.0%	35.0%	30.0%	30.0%	55.0%	35.0%	10.0%	30.0%	35.0%	35.0%

全体および製品別分類ごとの経営上の問題点(2023年7～9月期)

単純平均%で表示しております

傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

経営上の問題点		売上不振	輸出不振	製品単価安	取引条件悪化	過当競争	輸入品との競合	流通経費増大	原材料高	借入負担増	銀行の貸渋り	人件費高	採用難	技能者不足	技術力不足	マーケティング力不足	設備过剩	法的規制	為替問題	環境問題	人材育成	研究開発	事業継承
製品別																							
	日用品・雑貨類	56.0%	4.0%	36.0%	4.0%	4.0%	0.0%	4.0%	84.0%	8.0%	0.0%	32.0%	24.0%	32.0%	20.0%	8.0%	4.0%	4.0%	20.0%	4.0%	40.0%	8.0%	4.0%
	包装容器・キャップ	50.0%	3.3%	40.0%	3.3%	3.3%	3.3%	10.0%	76.7%	6.7%	0.0%	53.3%	33.3%	30.0%	16.7%	6.7%	0.0%	3.3%	10.0%	6.7%	23.3%	3.3%	0.0%
	電気・電子・通信部品	58.6%	0.0%	44.8%	0.0%	0.0%	3.4%	24.1%	48.3%	3.4%	0.0%	51.7%	31.0%	20.7%	13.8%	13.8%	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%	48.3%	3.4%	0.0%
	自動車	26.0%	1.0%	33.3%	4.2%	7.3%	0.0%	24.0%	42.7%	7.3%	0.0%	54.2%	55.2%	28.1%	5.2%	1.0%	2.1%	5.2%	6.3%	4.2%	39.6%	2.1%	5.2%
	住宅関連	57.1%	0.0%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	71.4%	0.0%	0.0%	71.4%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	7.1%	0.0%
	医療機器	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	その他	40.6%	3.1%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	18.8%	59.4%	6.3%	0.0%	34.4%	37.5%	25.0%	12.5%	6.3%	3.1%	0.0%	12.5%	6.3%	37.5%	3.1%	0.0%
	人数別																						
	20人以下	59.5%	2.7%	37.8%	5.4%	5.4%	2.7%	8.1%	59.5%	10.8%	0.0%	48.6%	10.8%	18.9%	10.8%	0.0%	2.7%	0.0%	10.8%	0.0%	27.0%	0.0%	2.7%
	21～50人	42.6%	1.6%	32.8%	1.6%	4.9%	0.0%	19.7%	59.0%	9.8%	0.0%	44.3%	36.1%	18.0%	13.1%	4.9%	1.6%	4.9%	8.2%	3.3%	34.4%	1.6%	0.0%
	51～100人	31.7%	1.6%	36.5%	1.6%	7.9%	0.0%	19.0%	55.6%	4.8%	0.0%	57.1%	50.8%	34.9%	9.5%	4.8%	0.0%	6.3%	3.2%	47.6%	4.8%	4.8%	
	101～300人	28.3%	0.0%	26.1%	2.2%	4.3%	2.2%	23.9%	56.5%	0.0%	0.0%	45.7%	56.5%	32.6%	8.7%	2.2%	2.2%	13.0%	2.2%	30.4%	4.3%	2.2%	
	301人以上	55.0%	5.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	55.0%	0.0%	0.0%	45.0%	50.0%	25.0%	15.0%	15.0%	0.0%	10.0%	10.0%	45.0%	5.0%	0.0%	

○「特定技能にかかる緊急アンケート」結果

設問 1. 「特定技能」資格による外国人の受入れを希望されますか（単位：社）

	東日本	中部日本	西日本	合計
希望する	17	34	23	74
希望しない	27	22	28	77
今後検討	21	20	11	52

設問 2. 当面（令和 6 年度から 10 年度の合計で）何名の外国人を希望されますか（単位：名）

	東日本	中部日本	西日本	合計
希望する	102	407	194	703

設問 3. 何かご希望の点がありましたらご記入ください

- ・今後検討 ※同一回答 他 1 件有
- ・その他在留資格でも外国人を受け入れ労働契約が可能な方法を拡充していただくことを期待する。
- ・人手不足の解消の方法として頼っている。
- ・特定技能では電気・電子情報向けの射出成形は認められていると聞いているが、食品向けは認められていないと聞いている。業種における差別とを感じる。
- ・現在、当社子会社にて 4 名特定技能として作業。今後の業種拡大と 2 号特定技能の詳細緩和に期待する。
- ・プラスチック製造業のものづくりへの貢献度は非常に高いので、特定技能として認められるべきである。
- ・法的注意の勉強会(セミナー)や参考となる資料提示をお願いしたい(自分で調べるのが難しい)。
- ・大至急改善望む。現在技能実習生 5 名中 3 名は半年以内に帰国。残り 2 名も 1 年半で帰国。
- ・すでに特定技能 18 名受け入れ。電子デバイス電子回路として受け入れ。特定技能の受入れが大いに必要ということ。
- ・特定技能 1 号の評価試験作成には、初年度より委員の 6 名が参加して 3 年間に亘り協力しております。また、今年度より特定 1 号、2 号の有識者委員会にも 2 名が参加しております。研究会のメンバーとしても作問の検討に加わっていますので、単独での特定技能の職種として設定を早急にしていただきますようお願いいたします。日本人の新卒採用が出来なくなっています(応募が無い)。
- ・希望ではなく心配事となりますが、特定技能が受け入れ可能となっても今度は特定技能者側に会社を選ぶ事が出来るため、より時給が良い会社に行くことになり、現状最低賃金はこの 30 年で倍になりますが、部品単価(協定価格基準)は 30 年間据え置きになっているため、大手の出すレートには付いていけず人手不足がどこまで解消するかは疑問ですが、働く事ができる人数が増えれば特定技能者か派遣社員のどちらかが大手からこぼれ出て来ることを期待します。
- ・11 月頃に答申される技能実習制度の改正内容を精査、検討したうえで、技能実習を継続するのか、特定技能に移行するのか、判断したいと考えております。
- ・中小企業の実態(現状)プロパー不足に応じた対応を早期に願う。
- ・採用難であり、作業不足が深刻な課題です。認定されるととても助かります。
- ・現行 5 年契約満了の実習生たちからも、特定技能資格で働きたいという要望があります。
- ・安易に特定技能生として外国人を雇用しないで、地域から雇用できる様な会社にして行くべき。
- ・今後の売り上げ状況による